

MOMAK

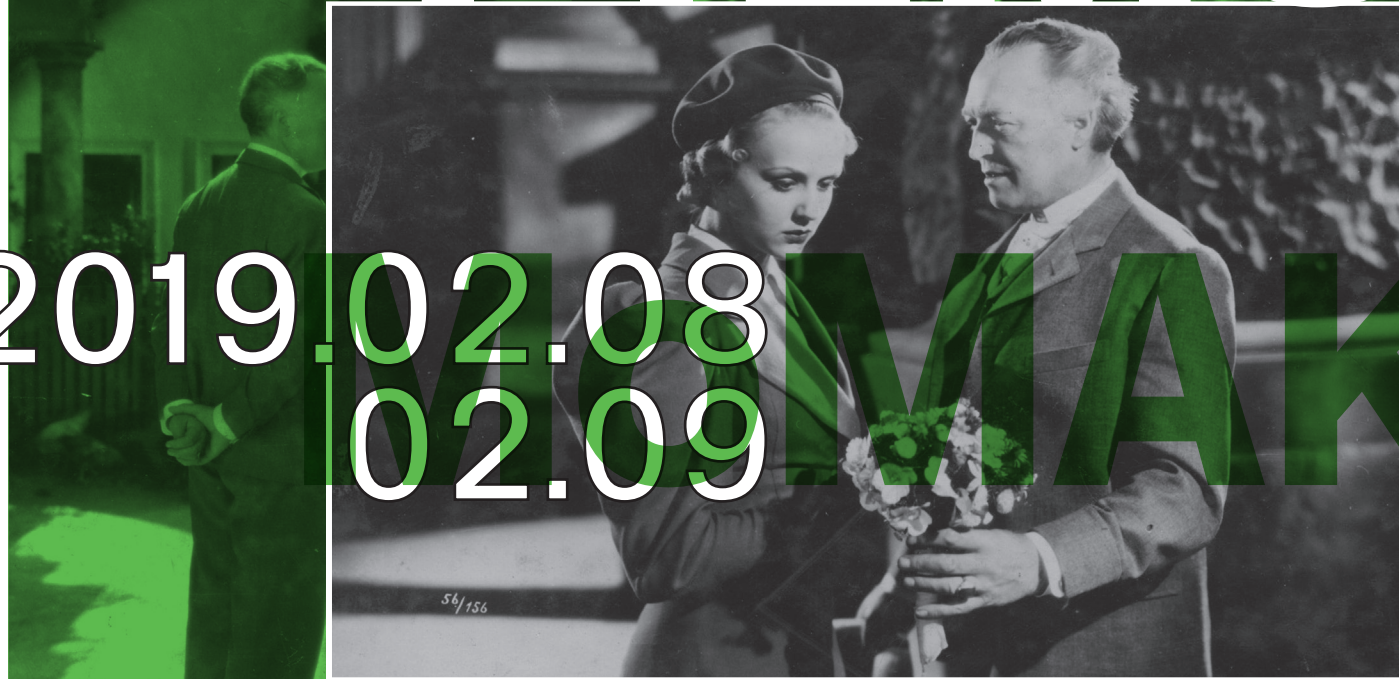
上映作品は予告なく変更する場合があります。
 上映作品、各回の入ヶシヨールについては京都国立近代美術館HP
 上にてご確認ください。
www.momak.go.jp/films/
 *中学生以下は無料。
 *お身に障り、本券でコクシヨール腰もご覧いただけます。
料金 | 170円から**520円**(当日券のみ)
先着100席
 入場券は限ッソクアツシヨールにて販売します。
 1回の上映時、1時間前より自分のすての作品の整理番号
 つき入場券を脱換、開場します。各回入替制です。
 会場内での飲食はご遠慮ください。

MOMAK

同開催の展覧会
 「世紀末ウィーンのグラフィック」
 一ツサイソとして生活の刷新にむけて」
 2019年1月12日(土) - 2月24日(日)
「フランス映画ホスター」 各回30分程度
 国立映画アーカイブ・コクシヨール
 2019年1月16日(水) - 2月24日(日)
 ホスター展解説トーク
 2019年2月9日(土) | 13:00 - 2:15:30 - 各回30分程度
解説 | 岡田秀則 (国立映画アーカイブ研究員)



FILMS



2019.02.08
 2019.02.09

MOMAK FILMS

映画のなかのウィーン

世紀末ウィーンのグラフィック展関連企画

「世紀末ウィーンのグラフィック」開催にあわせて、国立映画アーカイブ所蔵フィルムから、オーストリア出身の映画監督たちが1930年代にウィーンを舞台に描いた作品を厳選して上映します。

監督は、オーストリア、ドイツ、フランス映画を代表するヴェリ・フォルスト、ゲオルグ=ヴィルヘルム・バプスト、後にハリウッドで大活躍する脚本家のヴァルター・ライシュの3人。彼らの演出と、オイゲン・シュフタン、フランツ・プラナーによる撮影技術や、個性派俳優のヴェルナー・クラウス、ミシェル・シモン、ペーター・ローレ、そしてジャン・ギャバンの名演など、トーキー映画全盛期の映画表現をご堪能いただけます。映画に描かれた19世紀から1920年代の恐慌までの都市・ウィーンの姿と、芸術の街に生きる人々の人生を、35mmフィルム上映でお楽しみください。

2/8|金| 18:00-20:02

ブルグ劇場
BURGTHEATER

(122分・35mm・白黒)

1936(オーストリア)

監・脚 ヴェリ・フォルスト 脚 ヨッヘン・フォート

撮 テオドル・パーレ

美 ヴェルナー・シュリヒティン

音 ペーター・クロイダー

出 ヴェルナー・クラウス、
ヴェイリー・アイヒベルガー、ホルテンゼ・ラキ、
オルガ・チェーホヴァ

ウィーン演劇界に長く君臨してきた国立ブルグ劇場。19世紀末にここで活躍した実在の俳優の半生をモデルとした映画で、『カリガリ博士』の大ベテラン、ヴェルナー・クラウスが若い娘への恋情と迫り来る老いの間にはさまれた名優を格調高く演じている。

2/9|土| 14:00-15:21

上から下まで
DU HAUT EN BAS

(81分・35mm・白黒)

1936(フランス)

監 ゲオルグ=ヴィルヘルム・バプスト

原 ラディスラウス・ブス=フェケテ

脚 アンナ・グマイネル 撮 オイゲン・シュフタン

美 エルネ・メッツナー 音 マルセル・ラッテス

出 ジャン・ギャバン、ジャニーヌ・クリスパン、
ミシェル・シモン、ペーター・ローレ

サッカーの花形選手(ジャン・ギャバン)を中心に、ウィーンの下町のアパートに暮らす人々を描写したバプスト監督のフランスでの第2作。ドイツ映画を革新した撮影の名手シュフタンは、以降フランス映画に多大な貢献をなしてゆく。

2/9|土| 16:00-17:28

未完成交響楽
LEISE FLEHEN MEINE LIEDER

(88分・35mm・白黒)

1933(ドイツ=オーストリア)

監・脚 ヴェリ・フォルスト 原 ヴァルター・ライシュ

撮 フランツ・プラナー

美 ユリウス・フォン・ボルソディ

音 フランツ・シューベルト

出 ハンス・ヤーライ、マルタ・エツゲルト、
ルイゼ・ウルリッヒ、オットー・トレスラー

貧しかった若きシューベルトが、作曲家として世に出てゆく姿を追ったヴェリ・フォルストの監督デビュー作。忠実な伝記ではないとされるが、ウィーンフィルハーモニー管弦楽団や少年合唱団などの協力を得て、シューベルトの名曲が豪華に散りばめられている。

2/9|土| 18:00-19:24

女ひとり
EPISODE

(84分・35mm・白黒)

1935(オーストリア)

監・脚 ヴァルター・ライシュ

撮 ハリー・ストラドリング

音 ヴェイリー・シュミット=ゲントナー

出 パウラ・ヴェッセリー、
カール・ルードヴィッヒ・ディール、
オットー・トレスラー

ウィーンが恐慌のさなかにあった1922年、彫刻を学ぶ女子学生が身の転落におびえる中で、裕福なイタリア紳士に出会う。脚本家ライシュの珍しい監督作で、その後ハリウッドに渡って『ニノチカ』(1939年)や『ガス灯』(1944年)などの秀作を書いている。



ブルグ劇場



上から下まで



未完成交響楽



女ひとり

M

O

M

M